

都市再生整備計画 事後評価シート
屋島地区

令和7年3月

香川県高松市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県		市町村名	高松市		地区名	屋島地区			面積	600ha	
交付期間	平成29年度～平成31年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	356百万円	国費率	40%			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】屋島東町38号線【高質空間形成施設】参道整備									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】山上駐車場アクセス道路【地域生活基盤施設】緑地・広場、情報板、駐車場【高次都市施設】山上拠点施設	関連事業として、景観まちづくり刷新支援事業へ移行したことにより計画から削除					影響なし			
		提案事業	【地域創造支援事業】屋島ドライブウェイ無料化事業、水族館周辺整備、遍路道・登山道整備	関連事業として、景観まちづくり刷新支援事業等へ移行したことにより計画から削除					影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	【高質空間形成施設】屋島東町38号線	交通安全施設を整備・更新するに当たり、「史跡天然記念物・屋島」の景観に配慮した施設整備が必要であったため、追加したものの。					影響なし			
		提案事業										
交付期間の変更	当初	平成29年度～平成33年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
	変更	平成29年度～平成31年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	屋島山上入込客数	人/年間	500,000人	H21	700,000人	H27	-	666,031 (R4.8～R5.7)	○	あり なし	屋島東町38号線の法面・トンネル等の安全対策、また、景観まちづくり刷新支援事業による屋島山上交流拠点施設の整備事業を複合的に行った結果、新たな賑わいが創出され、来訪者数の増加につながった。
	指標2	山上拠点施設の利用者数	人/年間	0人	H21	490,000人	H28	-	189,536 (R4.8～R5.7)	△	あり なし	○ 山上拠点施設のオープンが、入札不調などの影響により大幅に遅れたこと、施設完成後にコロナ禍の影響を受け、想定よりも利用者数が下回り、目標を達成することができなかった。
	指標3	山上商業施設売上高伸び率	%	100%	H21	120%	H28	-	120 (R4.8～R5.7)	○	あり なし	屋島山上の商業施設業者に聞き取りした結果、入込客数の増加に伴い、売上高が増加した。
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	文化施設の整備に伴い、隣接する国分寺総合センターや国分寺図書館と併せた国分寺地区における中心地としての拠点機能が向上し、地域コミュニティが活性化され、まちづくりの機運が高まっ屋島山上の商業施設だけにとどまらず、自然連鎖的に発生した近隣商業施設のリニューアルやホームページやSNSなどを活用した情報発信を行ったことなどにより、屋島エリアの魅力の向上や乗客促進につながった。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

屋島地区(香川県高松市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		
大目標: 日本初の国立公園で、国の史跡・天然記念物に指定されている屋島において、新たな魅力と固有の価値を創造し、世界に誇れる高松市のシンボル地区として再整備することで、国際競争力の強化と地域の活性化を図る。		屋島山上入込客数	単位: 人/年間	500,000	H27	700,000	H27	666,031 R4.8~R5.7
目標1 屋島の持つ上質なポテンシャル(歴史的資産・ロケーション)を有効活用しながら、さらに誘客を強化しうる新コンテンツを整備する。		山上拠点施設の利用者数	単位: 人/年間	0	H28	490,000	H27	189,536 R4.8~R5.7
目標2 山上への唯一のアクセス道路である民間有料道路を公有化し、通行無料化や再整備(高質化・景観整備)を行い、山上へのアクセス向上を図る。(シンボルロード整備)		山上商業施設売上高伸び率	単位: %	100	H28	120	H27	120 R4.8~R5.7
目標3 歴史・文化資源や地形・地質遺産など、屋島が保有する世界的価値を最大限活用し、外国人観光客等の誘致及び集客促進を図る。			単位:					
			単位:					

**山上拠点施設整備
(景観まちづくり刷新支援事業)**

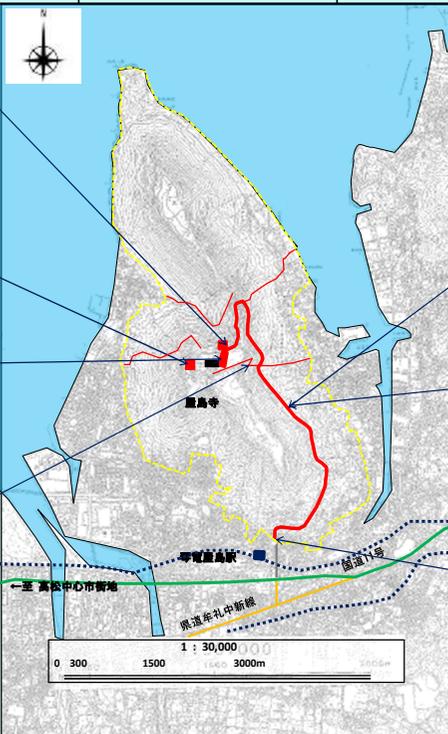


**駐車場整備(アクセス道路含む)
(景観まちづくり刷新支援事業)**



屋島ドライブウェイ無料化事業





**便利施設整備
(景観まちづくり刷新支援事業)**

**登山道・遍路道整備
(景観まちづくり刷新支援事業)**

①屋島東町38号線(屋島スカイウェイ)



②景観配慮型道路施設整備(高質空間形成施設)



③参道(ウェルカムロード)整備(高質空間形成施設)



まちの課題の変化	屋島山上拠点施設が整備されたことで、地域の魅力の向上につながるものがあるが、当該地域周辺には他にも歴史的施設や観光スポットもあり、それらと連携して更なる魅力の向上を図り、継続的に来訪者を呼び込む必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	屋島及び周辺地域には、歴史的施設や観光スポット及び文化施設などもあることから、ホームページやSNSなどのツールを有効活用するとともに、瀬戸内国際芸術祭やその他イベントとの連携を図り、インバウンド需要も取り込めるよう、幅広く情報発信を行い、集客促進につなげていく。